

**第159回新生ふくしま復興推進本部会議**  
**第55回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議**  
**合同会議 議事録**

- 日時：令和8年3月25日（水）16：30～16：43
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

**【鈴木副知事】**

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

議題の1つ目「第2期福島県復興計画（案）」について、企画調整部長。

**【企画調整部長】**

資料1を御覧ください。福島県総合計画のアクションプランである「福島県復興計画」は、「福島復興再生計画」と整合を図ることとしており、今般の再生計画の改定に合わせて、第2期福島県復興計画を整理いたしました。

今回は、「4つの重点プロジェクト」、各プロジェクトの「目指す姿」「取組の方向性」など、計画の根幹は変更せず、福島復興再生計画の改定内容を踏まえた加筆・修正や、復興の進捗による課題・成果の整理等を行っております。

主な内容を御説明します。7ページを御覧ください。中ほどの「浜通り地方の医療等の提供体制の構築」では、令和5年に双葉町において診療所が開所したことを受け、成果を「避難指示が解除された全ての市町村で診療所が再開・開設」と改め、課題として「双葉地域における中核的病院の整備を含めた医療等提供体制の充実・強化」としております。以降、他の項目においても同様に整理しております。

38ページを御覧ください。4つの重点プロジェクトのうち「1 避難地域等復興加速化プロジェクト」では、「避難解除区域の居住人口」等のデータを更新するとともに、39ページになりますが、「取組の方向性」に、昨今の自然災害を受けた河川整備や、F-R-E-Iに関する記載を追加いたしました。

46ページを御覧ください。「主な取組」には、新たに「F-R-E-Iとの連携」を追加しております。他のプロジェクトにおいても、同様の整理を行ったところです。

**【鈴木副知事】**

今の説明に関して、何かありますか。

なければ、原案のとおり決定することといたします。

**【鈴木副知事】**

議題の2つ目「福島復興再生特別措置法に基づく税制に関する計画」について、企画調整部長。

**【企画調整部長】**

資料2-1を御覧ください。「福島復興再生特別措置法」において、風評対策に係る課税の特例、いわゆる風評税制及び福島イノベーション・コースト構想の推進に係る課税の特例、いわゆるイノベ税制、避難解除区域等への企業立地の促進に係る課税の特例、いわゆる企業立地促進税制が規定されています。

昨年末に決定された令和8年度税制改正大綱において風評税制の令和10年度末までの3年間延長、イノベ税制の令和10年度末までの3年間延長及び対象事業の拡充が決定されたことを踏まえ、計画の変更を行うものです。特に、イノベ税制については、事業や区域等の新設・追加等を行います。

また、企業立地促進税制につきましても、計画期間の変更等の所要の修正を行います。

資料2-2が3つの税制の概要、資料2-3以降が各税制の計画の概要、計画本文案でございます。

各計画は、関係市町村に御意見を伺った上で作成しており、計画案を御了解いただけましたら、速やかに国へ提出したいと考えております。

今後も、関係市町村等との連携を密にしながら、3つの税制を最大限活用いただけるよう周知に努め、事業者の取組を後押しすることで、本県の復興・再生を進めてまいります。

**【鈴木副知事】**

今の説明に関して、何かありますか。

なければ、原案のとおり決定することといたします。

まとめて知事からお願いいたします。

**【知事】**

先日の福島復興再生計画の国の認定に続き、本日、総合計画に基づく福島県復興計画と、福島特措法に基づく税制特例に関する計画を決定し、第3期復興・創生期間以降の本県の復興・再生を前進させるための枠組みが整いました。

これらの計画は、避難地域の復興・再生、福島イノベ構想の推進による新た

な産業・雇用の創出、根強い風評の払拭など、震災と原子力災害からの復興・再生の取組の土台となるものです。

引き続き、国、市町村、関係団体等の皆さんと連携を図りながら、全庁一丸となって一つ一つの取組を着実に進めていきましょう。

#### 【鈴木副知事】

次に、報告事項の1つ目「令和8年度風評・風化対策」について、風評・風化戦略担当理事。

#### 【風評・風化戦略担当理事】

風評・風化対策について御報告します。はじめに資料3-1を御覧願います。風評・風化対策関連指標の現状であります。「福島県に対する良いイメージを持っている人の割合」は50.9%と、昨年未達成であった目標値を上回りました。一方、情報が届きにくい遠方のエリアで無関心層が多く、風化がより進行している傾向が見られます。また、モニタリング指標(3)県産品の購入意向や(4)福島県への訪問意向をみると、ネガティブな層が存在し続けており、依然として風評が根強く残っていることが結果として現れております。

資料3-2を御覧願います。令和8年度当初予算における風評・風化対策の全体像であります。震災と原発事故から15年が経過し、未だ根強く残る風評と進行する風化に対応するため、強化戦略の下、事業者への強力な支援に加え、本県の様々な魅力や復興の歩みを、「伝わる」情報発信として展開してまいります。また、これまでの温かい御支援に対する感謝をお伝えするとともに、福島に心を寄せてくださる皆さんとの絆やご縁をより一層深めながら、対策を進めてまいります。

資料3-3を御覧願います。令和8年度の主な情報発信の取組であります。新年度は、これまで以上に県事業への市町村の参画を拡充するなど、市町村との連携を強化しながら、ターゲットを意識した国内外への情報発信により、本県のイメージのアップデートを図ってまいります。

引き続き、あらゆる主体との連携・共創を拡大しながら、全庁一丸となって風評・風化対策に取り組んでまいります。

#### 【鈴木副知事】

続いて、報告事項の2つ目「復興・再生のあゆみ」、報告事項の3つ目「総合計画アニュアルレポート」について、企画調整部長。

## 【企画調整部長】

資料4-1の「復興・再生のあゆみ」を御覧ください。12月に発行した第18版を更新し、第19版としました。

今年は、東日本大震災と原子力発電所事故から15年が経過するとともに、県政150周年を迎える重要な年になります。この大きな節目の年に、「大ゴッホ展」や「ふくしまデスティネーションキャンペーン」などを通じて、国内外から多くの方々に「来て」いただき、本県の様々な魅力を「見て」「触れて」「感じて」いただくことで、復興が進む「福島は今」を発信していきます。

今回の表紙には、1月に実施したVISIT Fukushimaアンバサダー千葉清藍氏と福島西高校書道部による書道パフォーマンスなどを取り上げています。

なお、本資料の基礎資料となる資料4-2の「ふくしま復興のあゆみ」、資料4-3「「新生ふくしま」の実現に向けて」も併せて更新を行い、公表いたします。

資料5をご覧ください。総合計画の理解促進に向けては、知事を先頭に、出前講座等の機会を活用し、これまで1万2千人を超える県民の皆様と直接対話してきたところですが、策定から5年目を迎え、更なる情報発信が必要となることから、年次報告書として、新たに「総合計画アニュアルレポート」を毎年度作成いたします。

2ページをご覧ください。「1 ふくしまの今」では、本県を取り巻く現状と課題を掲載しています。東日本大震災と原発事故の概要を紹介し、改めて被災の状況を再確認いただくとともに、震災後に生まれた若い世代にも伝えていきたいと考えております。

以降、「復興・再生」では、避難地域や避難者数の推移、廃炉や風評・風化対策等の現状を、「地方創生」では、本県の人口減少の状況やふくしま共創チームの取組を掲載し、また、昨今の物価高騰や自然災害など「横断的な課題」のほか、この1年の県の取組等を掲載しております。

21ページをご覧ください。「2 総合計画の進捗状況」では、代表的な指標の達成状況に加え、ベコ太郎からのメッセージを記載することで、県の取組状況を分かりやすく伝え、子どもから大人まで、県民の共感や具体的な行動につなげていく考えです。

26ページをご覧ください。「3 ふくしまのこれから」では、福島県のPRも兼ねて、「県政150周年記念事業」や「ふくしまDC」など、新年度の県の目玉となる取組等を発信してまいります。

本レポートは、今後、県ホームページで公表の上、総合計画の出前講座で活用するとともに、学校の探究活動等でも活用いただけるよう、小中学校、高校

等にも周知してまいります。

各部局におきましても、様々な場面でご活用くださるようお願いいたします。  
説明は以上です。

**【鈴木副知事】**

今の報告事項に関して、何かありますか。  
知事からお願いいたします。

**【知事】**

来月からは、第3期復興・創生期間がスタートします。

震災、原発事故から15年が経過し、復興は着実に進んでいますが、避難地域の復興・再生や被災者の生活再建、廃炉と汚染水・処理水対策など、依然として困難な課題が山積しています。

さらに15年という歳月は記憶の風化という問題も生じさせています。

そのため、本県の復興・再生に向けた取組を県民お一人お一人に自分事として捉えていただくことが大切であります。連携・共創の輪を広げながら、伝わる情報発信に取り組んでください。

引き続き、これまでの県民の皆さんの懸命な御努力と国内外の皆さんからの温かい御支援への感謝、「ありがとう」の思いを胸に福島復興・創生を力強く前へと進めていきましょう。

**【鈴木副知事】**

以上で合同会議を閉じます。